

第1号様式

(第1面)

事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 541-0043

住 所 大阪市中央区高麗橋4-1-1 興銀ビル

氏 名 株式会社 日本触媒

代表取締役社長 野田 和宏

(代理人) 執行役員所長 武田 浩治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社日本触媒		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区千鳥町14-1		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ の他の部門	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	産業 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	部門
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	工業プロセス 部門
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	酸化エチレンおよび誘導品の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	93,350 kL
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input checked="" type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	91,651 t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2025 年度 ~ 2027 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	当社の地球温暖化対策の取組については、ホームページにて公表しています。 <a href="http://www.shokubai.co.jp/ja/csr/report/">http://www.shokubai.co.jp/ja/csr/report/</a>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

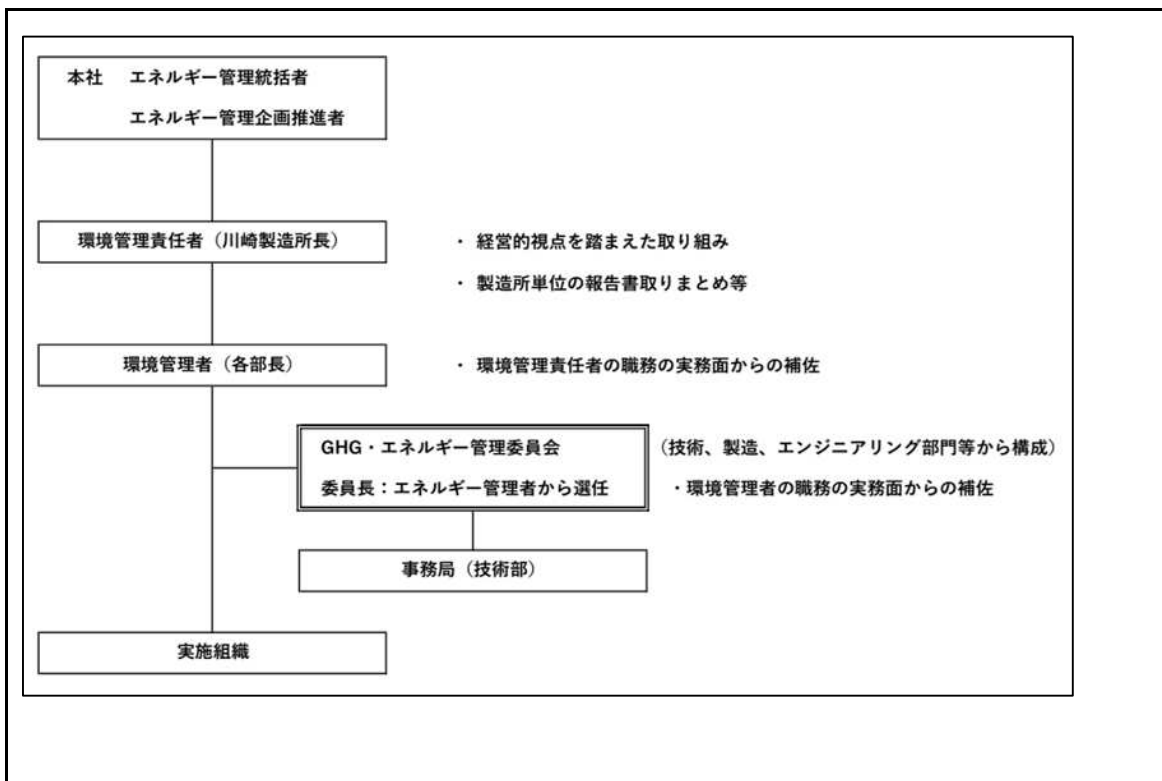
(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

1. 事業者全体基本方針  
 次の3つの方針により、積極的な地球温暖化対策を進めている。  
 (1)地球温暖化対策に関する取組を積極的に行ない、継続的に対策を推進する。  
 (2)目標を明確に定め、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。  
 (3)温室効果ガス排出量の削減に寄与する製品及びサービスの社会への提供を行なう。  
 また各事業所においては、その事業内容及び地域社会等の環境を考慮し、それぞれの方針及び目標を定めて活動している。  
 2. 川崎製造所の基本方針  
 (1)3カ年毎に中長期目標・計画を掲げ、達成に向けて省エネ案件の抽出・実施を行なう。  
 (2)事業活動を考慮し省エネルギーの推進を図る。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C Aサイクル）を行うための方針

GHG・エネルギー管理委員会で進捗状況を確認する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。))

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準	年度	2024	年度	2024	年度	2024	年度
目標	年度	2027	年度	2027	年度	2027	年度
基準	排出量	(基)	187,276	(基)		(基)	91,651
	(t-CO <sub>2</sub> )	(調)	187,276	(調)		(調)	91,651
目標	排出量	(基)	181,659	(基)		(基)	91,651
	(t-CO <sub>2</sub> )	(調)	181,659	(調)		(調)	91,651
削減	量	(基)	5,617	(基)		(基)	0
	(t-CO <sub>2</sub> )	(調)	5,617	(調)		(調)	0
削減	率	(基)	3.0 %	(基)	%	(基)	0.0 %
		(調)	3.0 %	(調)	%	(調)	0.0 %

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

			1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	2025年度	排出量	(基)		(基)		(基)	
		(t-CO <sub>2</sub> )	(調)		(調)		(調)	
		削減量	(基)		(基)		(基)	
		(t-CO <sub>2</sub> )	(調)		(調)		(調)	
		削減率	(基)	%	(基)	%	(基)	%
			(調)	%	(調)	%	(調)	%
第2年度	2026年度	排出量	(基)		(基)		(基)	
		(t-CO <sub>2</sub> )	(調)		(調)		(調)	
		削減量	(基)		(基)		(基)	
		(t-CO <sub>2</sub> )	(調)		(調)		(調)	
		削減率	(基)	%	(基)	%	(基)	%
			(調)	%	(調)	%	(調)	%
第3年度	2027年度	排出量	(基)		(基)		(基)	
		(t-CO <sub>2</sub> )	(調)		(調)		(調)	
		削減量	(基)		(基)		(基)	
		(t-CO <sub>2</sub> )	(調)		(調)		(調)	
		削減率	(基)	%	(基)	%	(基)	%
			(調)	%	(調)	%	(調)	%

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
	2013	年度	2013	年度	2013	年度
比較年度排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)	168,822 140,097	(基) (調)		(基) (調)	9,022 9,022
目標排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)	181,659 181,659	(基) (調)		(基) (調)	91,651 91,651
削減率(目標)	(基) (調)	-7.6 % -29.7 %	(基) (調)	% %	(基) (調)	-915.9 % -915.9 %
削減率(第1年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第2年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第3年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(3) 目標設定に関する説明

<p>[1,2号該当者目標について] エネルギー原単位を年平均で1%削減することを前提に目標を設定した。省エネ活動の確実な実施と改善テーマの選定・実施を行い、目標達成に向けて努力する。</p> <p>[4号該当者目標について] 非エネルギー起源の排出は酸化エチレンの生産により副生するCO2が大部分であり、この排出を抑えるためにはCCUなど革新的な技術検討が必要であるため、目標年度においては現状維持とした。</p>
--

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	<p>1. 排ガス及び蒸気ドレン以外の廃熱回収の管理 プロセス廃熱の性状、量、回収状況を把握し、廃熱回収が可能な場合、回収設備の設置を行う。</p> <p>2. 高度制御システムの導入 多変数モデル予測制御により全ての操作変数に対して同時に設定値を入力し、瞬時に最適な運転値に制御できるシステムを導入して用役使用量を削減する。</p>
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

4 エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項

(1) エネルギーの使用量に係る原単位等の値(1、2号該当者)

原単位等の活動量	生産量			原単位等の単位	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	kl/ton
エネルギー消費原単位の値	0.1556				0.1510
活動量の値	599551				599551
エネルギー消費原単位の削減率		%	%	%	3.0 %

(2) 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(4号該当者)

原単位等の活動量	生産量			原単位等の単位	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	t-CO2/ton
排出量原単位の値	0.4652				0.4559
活動量の値	599551				599551
排出量原単位の削減率		%	%	%	2.0 %

(3) 目標設定に関する説明

<p>[1,2号該当者目標について]                      エネルギー原単位を年平均で1%削減することを前提に目標を設定した。省エネ活動の確実な実施と改善テーマの選定・実施を行い、目標達成に向けて努力する。</p> <p>[4号該当者目標について]                      エネルギー起源の排出量については上記の通り年平均1%削減することを目標とする。                      一方で、非エネルギー起源の排出は酸化エチレンの生産により副生するCO2が大部分であり、この排出を削減するためにはCCUなど革新的な技術検討が必要であるため、目標年度においては非エネルギー起源のCO2排出量は現状維持とした。                      よって、エネルギー起源の排出量削減により、目標年度の排出量原単位の削減率は2.0%になった。</p>
--

(4) 基準年度からの原油換算エネルギー使用量等の推移(1、2号該当者)

ア 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
原油換算エネルギー使用量	93,350 kL	kL	kL	kL
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量	187,276 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
事業所の数	2			

イ 事業所単位

基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量<<クレジット考慮>>(t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
川崎製造所浮島工場	川崎市川崎区浮島町10番12号	94,528			
川崎製造所千鳥工場	川崎市川崎区千鳥町14番1号	92,748			

(5) 計画期間のエネルギー消費原単位等の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施するエネルギー消費原単位の改善、エネルギー使用量の削減等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	1. 排ガス及び蒸気ドレン以外の廃熱回収の管理 プロセス廃熱の性状、量、回収状況を把握し、廃熱回収が可能な場合、回収設備の設置を行う。 2. 高度制御システムの導入 多変数モデル予測制御により全ての操作変数に対して同時に設定値を入力し、瞬時に最適な運転値に制御できるシステムを導入して用役使用量を削減する。	
第1年度		
第2年度		
第3年度		
計画期間におけるエネルギー消費原単位等についての評価(第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など(第3年度の報告時に記載)		

5 再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項(1、2号該当者)

(1) 再生可能エネルギー源等の導入

ア 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入(基準年度)

種 類	設備規模 (kW)	発電量 (kWh/年)	余剰売電量 (kWh/年)	導入(保有)年度
太陽光				
風力				
バイオマス (燃料: )				
その他( )				
その他( )				
合 計		0	0	

イ 使用電力の再生可能エネルギー電源比率

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電力エネルギー消費量	194,860,164 kWh	kWh	kWh	kWh	194,860,164 kWh
再エネ電源等	9,743,008 kWh	kWh	kWh	kWh	31,944,508 kWh
再エネ電源比率	5.0%	%	%	%	16.4%

(2) 電気事業者等から調達する電力の排出係数

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.431				0.431

(3) 使用エネルギーの電化の取組

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電化の割合	46.5%	%	%	%	46.5%

(4) 目標設定に関する説明

目標年度までに全電力エネルギー消費量に対して対基準年度で16%程度を目標に再生可能エネルギーの導入を目指す。

(5) 計画期間の再生可能エネルギー等の導入、電気事業者等から調達する電力の温室効果ガス排出係数等の状況

計画	目標年度までに全電力エネルギー消費量に対して16%程度を目標に再生可能エネルギーの導入を目指す。 電気事業者等から調達する電力の排出係数は基準年度と同等を見込む。	
第1年度		
第2年度		
第3年度		
計画期間における再生可能エネルギー等の導入等の評価 (第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	2050年までの脱炭素化表明有・計画有			
内容	2050年度にカーボンニュートラルの達成を目指す。			
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	2050年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	2030年度	年度	年度	年度
	30%削減 (2014)年度比	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	事業活動や他の者の脱炭素化につながる取組有			
内容	CCSについて、JOGMEC「先進的CCS事業に係る設計作業等」に参画中。 CCUについて、川崎産業間連携CCU Hub & Cluster構想に参画中。			

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	有			
内容	2050年度にカーボンニュートラルの達成を目指す。また、2030年度において対2014年度でGHG排出量を30%削減することを目指す。			

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	その他の二酸化炭素を排出しない熱を導入			
内容	製造過程で発生する廃油をボイラー燃料とした熱エネルギーを使用している。			

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし			
RE100	該当なし			
RE Action	該当なし			
TCFD	賛同済み			

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	定性的な記載有			
内容	環境貢献製品の開発・普及拡大、CO2回収・再利用技術の開発・普及、マテリアルリサイクル・ケミカルリサイクルの開発・社会実装などを通してサプライチェーン全体での削減に取り組む。			

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし			
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）  
 （各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

目標年度までの計画	・物流業者との協力によるモーダルシフトの実施 一部製品の輸送を貨物鉄道輸送やパイプラインで行い、年間1,000T程度のCO2排出量削減を行う。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

9 事業者における基準年度からの温室効果ガスの種類ごとの排出量の推移（4号該当者等）

温室効果ガスの種類	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
	温室効果ガスの量 ( t-CO <sub>2</sub> )	温室効果ガスの量 ( t-CO <sub>2</sub> )	温室効果ガスの量 ( t-CO <sub>2</sub> )	温室効果ガスの量 ( t-CO <sub>2</sub> )	温室効果ガスの量 ( t-CO <sub>2</sub> )
①非エネルギー起源CO <sub>2</sub> (②除く)	82,109				82,109
②廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>					
③CH <sub>4</sub>	9,542				9,542
④N <sub>2</sub> O					
⑤HFC					
⑥PFC					
⑦SF <sub>6</sub>					
⑧NF <sub>3</sub>					